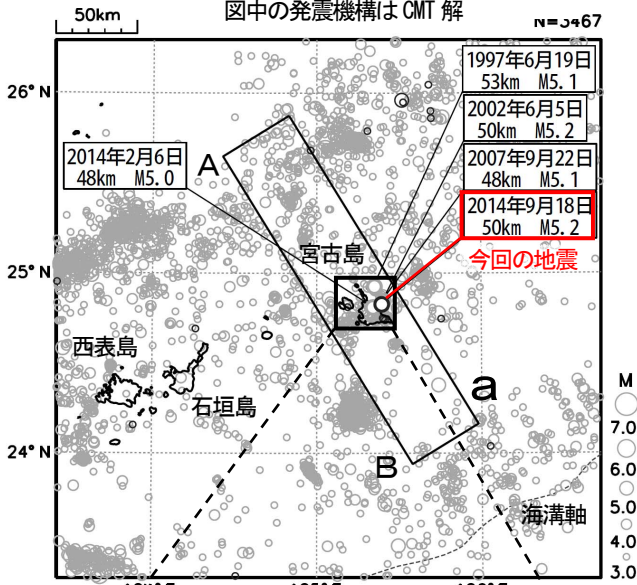


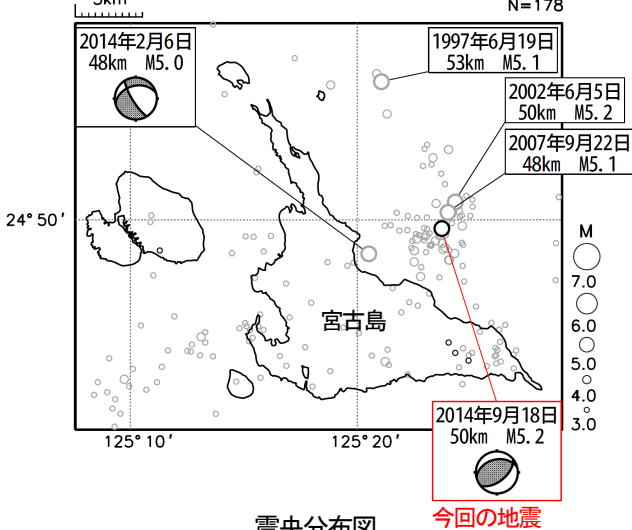
9 月 18 日 宮古島近海の地震

震央分布図

(1997 年 1 月 1 日～2014 年 9 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$)
2014 年 9 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

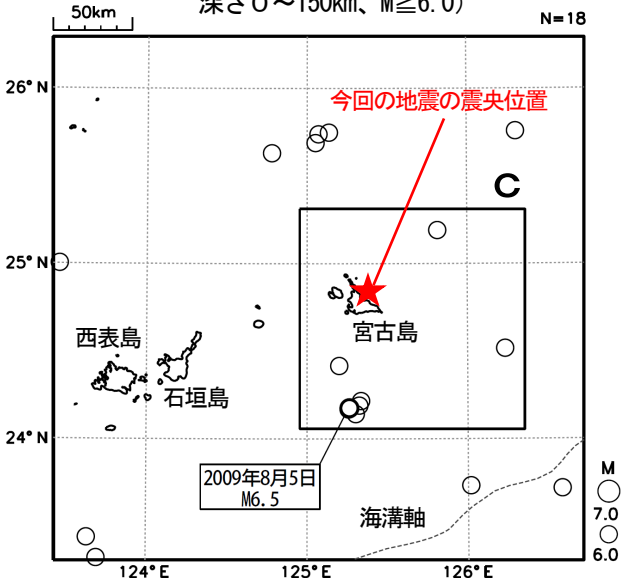


拡大図



震央分布図

(1960 年 1 月 1 日～2014 年 9 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 6.0$)

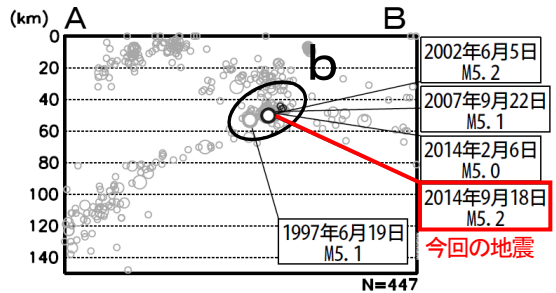


2014 年 9 月 18 日 08 時 18 分に宮古島近海の深さ 50km で M5.2 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

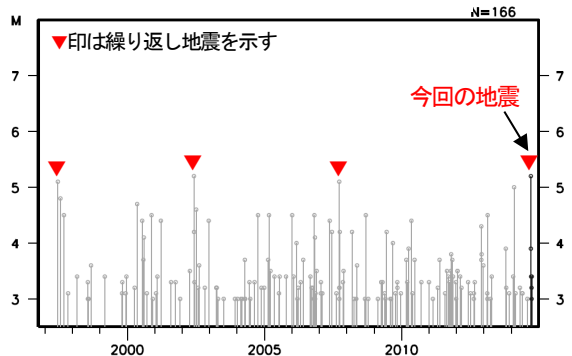
1997 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近では、今回の地震も含め、M5.1 前後の地震が平均で 6 年間隔で発生している（繰り返し地震※）。

※繰り返し地震とは、発生場所や規模がほぼ同じでほぼ一定間隔で繰り返し発生している地震である。また、観測される地震波形も類似するとの特徴を持つ。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

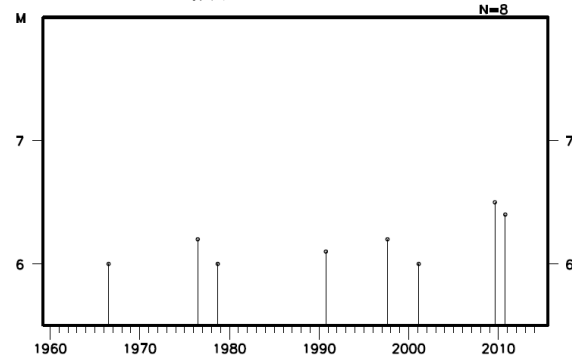


領域 b 内の M-T 図



1960 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。

領域 c 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)